

試験で使える小技

～ 相談援助はコンビニやレストランに置換して考える！～

「福祉サービスや介護サービスは、どの産業(分野)に分類されますか？」と質問をうけると「福祉」という返答が多いと思います。実際に統計調査でも産業別となると「福祉」といったニュアンスのものに分類されています。

★★★

それはそれで正しいのですが、「介護サービス」のように「〇〇サービス」とついている以上、社会福祉士や介護福祉士などが行っている業務も「サービス業」に含まれるといっても問題ないと思います。

★★★

ですから、相談援助といった対人援助(コミュニケーション技術)を中心に試験問題(特に事例問題)を見てみると、コンビニやレストランの場面に置き換えて考えても、正解できることが少なくありません。これは、相談援助分野は、接客業の基礎ともいえる内容であり、コンビニやレストランといった他のサービス業と共通する点が多く存在するからです。

★★★

相談援助系の事例問題が出題され、正解が分からなかったら、「援助者 = コンビニ店員 or レストランのホールスタッフ」「利用者 = お客であるご自身」と置き換えてみましょう。そして、お客であるご自身が「嫌だな」と感じる対応は「×」である、「自分の希望に最も近いな(ニーズに合っている)」と感じる対応は「○」と判断してください。だいたい正解すると思います。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。



@fukusitaisaku_boboya



fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

